
日本花粉学会第 50 回大会シンポジウム 花粉学における世界の動向-IPC/IOPC2012 へ向けて

趣旨説明と IPC/IOPC2012 の計画

高原 光 (京都府立大学大学院生命環境科学研究科)

IPC/IOPC 合同大会が 2012 年に東京で開催されることが、昨年 の Bonn 大会で決定されました。そこで、日本花粉学会第 50 回大会のシンポジウムでは、Bonn 大会での情報などをもとに、花粉学の各分野における世界の研究動向を紹介いただき、あるいは日本での特徴的な研究の紹介をいただき、IPC/IOPC2012 におけるシンポジウムの企画へつなげたいと思います。日本花粉学会と新たに発足した IPC/IOPC 合同大会組織委員会(日本花粉学会誌 55 巻 1 号 p49-50 参照)の連携によって充実した企画を計画するための Kick off をしたいと考えています。下記のように花粉学会の各分野から話題提供いただきます。

1. IPC-XII/IOPC-VIII (ボン, ドイツ:2008) の発表からみる第三紀化石花粉学 の研究動向
齊藤 毅 (名城大学理工学部環境創造学科)
2. 花粉分析による第四紀後期における気候変動と植生変遷に関する研究
-INQUA2007, IPC/IOPC2008, PAGES2009 での動向-
林 竜馬 (京都府立大学大学院農学研究科) "
3. 植物分類学からみる花粉形態学
高橋英樹 (北海道大学総合博物館)
4. ハナバチが訪れる花たち
田中 肇
5. 花粉管の伸長を支える周辺組織の役割について
平塚理恵・寺坂 治 (慈恵医大・自然科学・生物研)
6. 遺伝子組換え作物の花粉飛散による交雑問題
川島茂人 (京都大学大学院農学研究科)
7. 花粉学における遺伝育種分野の研究動向
近藤禎二 (森林総研林木育種センター)
8. 空中花粉と花粉症-最近の動向-
岸川禮子 (国立病院機構福岡病院アレルギー科)
9. 日本における花粉飛散量予測の現状と世界的な動向
鈴木基雄 (気象業務支援センター 情報開発室)